

発行人 杉原孝一

編集人 小林秀樹

長野県諏訪郡下諏訪町南高木10616-66

Tel 0266-28-6011 Fax 0266-28-6088

Email : jam-koushin@mbp.ocn.ne.jp

JAM甲信 第24回定期大会

「当事者意識」を高めて、行動しよう!!

JAM甲信は2022年9月9日（金）、長野県岡谷市のライフプラザマリオに於いて、JAM甲信第24回定期大会を開催した。

今年度は、新型コロナウイルス感染防止の為、対面・Web併用開催とし、村田きょうこ参議院議員、本部の中井書記長以外の来賓はお招きせず、対面53名、Web71名と委任状34通を集め開催した。また、3年ぶりに女性特別代議員も招集した。

冒頭、村田きょうこ参議院議員より「先日の参議院選挙では、JAM甲信の皆さんの力強い応援を頂いたことに御礼を申し上げる。参議院議員として、本日の定期大会に参加でき、心より嬉しく思う」「125,340人の方に投票してもらい、当選を果たすことが出来たが、決して自分一人で行った活動ではない。議員バッチに全国のJAMの皆さんの思いが詰まっていると感じているので、その思いに応えるために議員として活動していく」と感謝と決意が語られた。



杉原執行委員長から村田きょうこ参議院議員に
当選祝いのお花束の贈呈

挨拶に立った杉原執行委員長は、「まず参議院選挙の取り組みに対して、感謝を申し上げる。この勝利は現場の力が結集したことによるものである。しかし、課題もあるので甲信としての総括もしっかり行ない、2025年の参議院選挙、来年の地方統一選に繋げていきたい」「また、2022年春闘については、組合員の為にあるべき水準を示し、人への投資が大事であることを訴えてもらう中で、賃上げ、一時金ともに過去最高水準となった。ロシアのウクライナ

侵攻が続き、円安・物価高の影響もしばらく続くことが予想されているが、組合員の生活を守るためにも、2023年春闘でもしっかりした交渉の上、賃上げに取り組んでいきたい」と語った。



JAM甲信を代表して挨拶をする杉原執行委員長

その後、2022年度の活動報告と会計報告、新加盟のシンボ労組上田支部の紹介などを行なった。休憩を挟み議案審議に入り、1号議案の「2023年度・活動方針（案）」の提案においては、櫻井書記長より「目まぐるしく環境が変化しているので、今まで以上に当事者意識をもって、企業における経営状況や政府の打ち出す政策をチェックし、行動に移そう」と語った。続いて2号議案の「2023年度予算（案）」、第3号議案の「2023年度・役員補充に関する件」と続き、大会宣言（案）を含めて満場一致で可決、承認がされ、最後に杉原執行委員長の団結ガンバローで閉会となった。



新加盟のシンボ労組上田支部

（左から2人目松本書記長、3人目野津山支部長、4人目定永執行委員長）

＊ ＊ 2023年度活動方針の要旨 ＊ ＊（概要・抜粋）
変革・実践 ― 全員参加で未来を切り拓こう ―

〈2023年度のポイント〉

- ①全組合員が従来より「当事者意識」を高め、経営や政治をチェック
- ②チェック機能を高めるため「学習活動」を強化し、高位平準化を目指す

【教育学習活動の強化】、【単組支援体制の強化】

- ☆単組主催の各種研修会開催時に地域の仲間にも参加してもらえるような声掛け活動の実施
- ☆地区協の幹事会でテーマを選定して研修会を開催することで高位平準化を目指す

【健全な労使関係の構築】

- ☆単組との連携を密に、労働協約・就業規則を点検すると共に正常な運用を行なうバックアップ体制を強化

【男女共同参画社会の実現】

- ☆単組・支部の運動方針・活動方針に「男女平等参画に関する方針」を盛り込む働きかけの強化

【共済活動の推進】

- ☆単組役員の保障点検を行い、「無保障者」を無くす取り組みの強化

【書記局体制の強化】

- ☆「JAM甲信HP・LINE公式アカウント」を利用して、JAM甲信の最新情報を随時提供
- ☆Webを活用した会議や研修の積極的な開催

＊ 2023年度JAM甲信役員体制 ＊

2023年度は改選期ではないが一部交代となり、下表の通りとなった。

☆印：新任

役 職	選出枠	氏 名（選出単組名）	役 職	選出枠	氏 名（選出単組名）
執行委員長	全 体	杉原 孝一（TDK甲府）	執行委員	山 梨	野村 直（キッツ長坂）
副執行委員長 （地区協議長）	山 梨	櫻井 澄人（キトー）	（地区協事務局長）	長 野	青木 俊晴（都筑製作所）
〃	長 野	木村 卓彦（信濃電気製錬）	〃	佐 久	☆盛野 恵太（シチズンマシナリー）
〃	佐 久	岩崎 直一（シチズンミヨタ）	〃	中 信	米山 渉（カイジョー松本）
〃	中 信	古畑 浩樹（HDS）	〃	上伊那	小林 大樹（キッツ伊那）
〃	上伊那	橋爪 寿一（NTN長野）	〃	飯 田	木下 達弘（多摩川精機）
〃	飯 田	松田 俊英（シチズン飯田）	〃	諏訪北	藤森 俊和（エグロ）
〃	諏訪北	濱 章義（大和電機工業）	〃	諏訪南	渡辺 昂（野村ユニソン）
〃	諏訪南 （上小）	菊池 幸一（キッツ茅野） ※地区連絡会を継続とする	執行委員	上 小	小倉 康男（松山）
財政委員長	兼 務	古畑 浩樹（HDS）	〃	女性枠	池田 明里（シチズンミヨタ）
書記長	専 従	櫻井由紀夫（書記局）	会計監査	山 梨	矢部 孝弘（シチズン河口湖）
副書記長	専 従	佐野 亮一（書記局）	〃	諏訪南	☆折井 洋介（諏訪三社電機）
参 与		桜田 力（南アルプス市議）	特別執行委員	青女協議長	☆久保田 晃（シチズン飯田）
顧 問		武田 彰（前執行委員長）	〃	副議長	小林 望（多摩川精機）
			〃	女性枠	小尾ゆう子（キトー）
			〃	〃	郷 和子（TPR）
			〃	連合長野	竹村 進（多摩川精機）

※特別執行委員・顧問は選挙でなく執行委員長より委嘱

退任役員

役 職	選出枠	氏 名（選出単組名）	役 職	選出枠	氏 名（選出単組名）
執行委員	佐 久	佐藤 正弘（シチズンマシナリー）	会計監査	諏訪南	鎌倉 竜馬（諏訪三社電機）
—	—	—	特別執行委員	青女協議長	栗山 義雄（シチズン飯田）

2022年8月25日、JAM第24回定期大会が対面・Web併用で開催され、JAM甲信は岡谷市のライフプラザマリオを会場に、各地区協から1名ずつの計9名の代議員・特別代議員に加え、傍聴として2名が参加した。

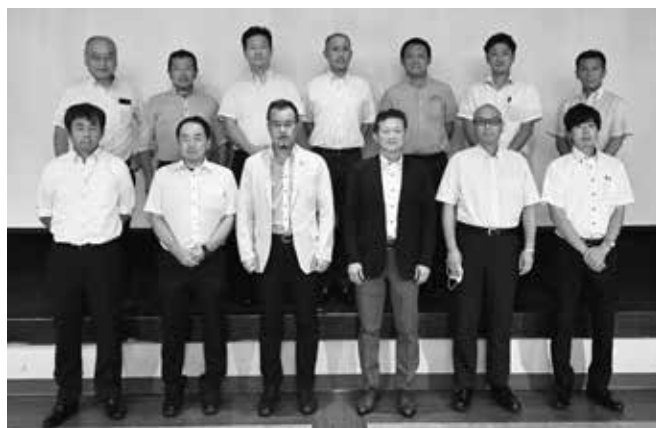


Webを通して大会に参加

大会に先立ち、「ものづくり進化論Ⅲ」の発表・報告が行われた。その後、大会冒頭で挨拶に立った安河内会長は、「先に行われた参議院選挙では、私たちの12年ぶりの悲願であった参議院全国比例区での勝利を勝ち取ることが出来た。この勝利はJAM運動を推進して頂いている単組役員の皆様のご尽力と組合員の団結力の勝利である」「ウクライナ戦争の長期化を一因とする原材料・エネルギー高が加速する中において、日本経済の衰退は深刻な局面を迎えている。最大の要因は賃金が上がっていないことである。非正規雇用の問題や高齢者雇用の問題、男

女間格差とりわけ扶養控除の問題など、様々な課題を解決しなければ賃金は上昇せず、更に中小企業労働者の賃金が上がらなければ、日本全体の賃金は上がらない。今すぐ改善しなければ、私たちの雇用に直結する問題となる。現場で何が起きているか、声を挙げて頂きたい」「今、時代は大きな転換点を迎えており、新しい時代に向けた対話が必要である。お互いの立場を尊重しながら、自らの意見をしっかりと発言し、新しい解決策を見出していこう」と語った。

大会では2023年度活動方針（案）に関する件、2023年度予算案に関する件、第26回参議院議員選挙の中間総括（案）に関する件など、計10件の議案が提案され、いずれの議案も賛成多数で可決、承認がされた。



甲信の会場から参加した皆さんで

* 2023年度の活動方針の具体的な課題と目標 *（項目のみ）

☆印：2023年度補強内容

1. 職場に関する取り組み

- (1) 雇用確保（☆企業再編とM&Aへの対応）
- (2) 賃金・労働条件（☆JOB型雇用に関する当面の考え方の整理と指針づくり）
（☆高齢者雇用の労働条件について、実態の把握）、
- (3) 男女の均等待遇 (4) 安全衛生活動

2. 組織に関する取り組み

☆組織変革プロジェクト・作業委員会の最終報告で、参加と対話の推進のための「組織の活性化」「組織機構と運営」、および「次世代人材育成」に関する諸課題がまとめられました。そこで示され、提起された課題の解決に向け、具体化を図っていきます。

- (1) 組織の強化 (2) 組織拡大（☆現状の組織体制の把握強化） (3) 男女平等参画の推進
- (4) 財政健全化 (5) 共済運動の推進 (6) 業種別部会の活動、 (7) 大手労組会議の活動
- (8) 国際労働運動の推進 (9) 教育と人材育成
- (10) 青年活動（☆エリア会議の開催による新たな運動の模索）
- (11) 広報活動とICT活用の推進 (12) JAMシニアクラブへの取り組み

3. 社会に関する取り組み

- (1) 「価値を認め合う社会へ」の実現（☆適正な取引環境の取り組み強化）
- (2) ものづくり基盤強化 (3) 国・自治体における経済・産業政策の推進
- (4) 税制と安心できる社会保障制度 (5) 職場・組合員と政治をつなぐ取り組み
- (6) 政治活動の強化（☆第26回参議院選挙の総括と第27回参議院選挙に向けた議論）
（☆改選を迎える組織内議員、準組織内議員の現有議席の死守）
- (7) つながり支えあう社会との連帯活動 (8) 大災害発生などに対する取り組み

JAM甲信青年女性協議会は、政策制度セミナー、ステップアップセミナーについて、コロナの感染拡大により集合形式での開催を断念しつつも、労働組合の次世代を担う青年女性層の学びの場・交流の場を提供するため、代替企画を検討の上、開催した。



政策制度セミナー（6/28 都筑製作所労働組合）

政策制度セミナーの代替企画としては、昨年に引き続き、YouTubeに基調講演の映像をアップし、冊子資料を提供する形で、単組内研修会を開催した。全体で15単組・支部、284名が参加した。

基調講演では小林組織部長が講師を務め、「政治に参加しよう」と題して、労働組合が政治に関わる理由、ガソリン価格の高騰を例に、身近にある政策制度について、衆議院選挙、参議院選挙の選挙制度や仕組み、そしてなぜ私たちは政治に参加しなければいけないか、なぜ組織内議員が必要なのかの5項目を説いた。

開催風景の写真と共に感想をお寄せ頂いた単組・支部の声として、「若年層の投票率の低さには、大変驚いた」「労働組合が政治に関わる理由について、身近な事例を通じて、改めてその必要性・重要性を理解することができた」などが挙げられた。

ステップアップセミナーの代替企画としては、災害に遭遇した時に役に立つ防災用品の順位付けをするなどの模擬ゲームを題材としたコミュニケーション型グループワークを行なう「体験学習会」を地区協の青年女性協幹事会において開催した。

参加者からは、「対面で集まりにくい中で、メンバーとコミュニケーションが取れ、交流が出来て良かった」「災害が題材となっているグループワークで、災害について考えるきっかけにもなって良かった」などの感想が寄せられ、幹事同士の交流、また今後の組合活動を支える人材育成の機会となった。



ステップアップセミナー（7/21 山梨地区協）

2022年年末一時金・労働協約取り組み方針について

2022年年末一時金並びに労働協約の取り組みにおいて、以下にJAMとしての取り組み方針の概略を記しますのでそれぞれご確認下さい。

※情勢や詳細については、「JAM甲信第24回定期大会の議案書・資料編」に記載されています。

■労働協約における最重点課題と重点課題

1. 最重点課題
JAM指針に沿った労働時間への取り組み
2. 重点課題
 - ①高齢者雇用
 - ②多様性に対応した包摂的な雇用環境の整備
 - ③安全で健康的に働ける職場環境の整備
3. 要点検項目
 - ①賃金・労働条件の実態の把握と分析
個別賃金要求準備、企業内最低賃金協定の点検
 - ②退職金・企業年金の保全状況の把握等について
 - ③労働協約の債務条項及び企業の財務状況について

■年末一時金の取り組み

1. 年間5ヶ月基準または半期2.5ヶ月基準
2. 最低到達基準：年間4ヶ月または半期2ヶ月

■取り組みの日程

1. 労働協約
要求提出：10月6日（木）まで
回答指定日：11月10日（木）まで
2. 年末一時金
要求提出：10月20日（木）
回答指定日：11月10日（木）